

【2023(令和5)年度 第52回 九州高等学校ハンドボール選抜大会】
(第47回 全国高等学校ハンドボール選抜大会 九州地区予選大会)開催地：長崎県

競技上の注意と確認事項

1 競技規則

本大会は、令和5年度「(公財)日本ハンドボール協会 競技規則」によって行う。

2 競技会場

(1) 競技会場・コートのはさは、以下のとおりとする。

- 佐世保市体育文化館 (39m×20m) 2面
- 佐世保市東部スポーツ広場 体育館 (40m×20m) 1面
- 長崎県立佐世保西高等学校 体育館 (40m×20m) 1面

※全会場ともに「松やに」の使用を禁止し、「両面テープ」のみ使用を認める。

(2) 別紙「会場使用上の注意」を遵守して使用する。

3 種別及び参加人数

参加人数は、役員4名以内・選手16名以内の合計「20名」以内とする。

(役員が生徒の場合は、2名までとする。)

4 競技方法

競技方法は、各県1位代表および2位代表によるトーナメント方式とする。

5 参加資格

参加資格は、「実施要項 11」のとおりとする。

臨時トレーナーについては、別に定める。※競技上の注意と確認事項「16」参照

6 競技日程・時間

(1) 競技日程は、プログラムのとおりとする。

(2) 競技時間は、「前半30分-休憩10分-後半30分」とする。なお、同点の場合は、延長戦を正規で行う。

○「第1延長戦」→「第2延長戦」→「7mTC(5名)」により、勝敗を決定する。

なお、7mTCについては、JHAホームページ「7mTCの実施要項」に沿って実施する。

○第1延長戦は、「後半終了後 → 5分休憩(即トス) → 前半5分 → 休憩1分 → 後半5分」とする。

○第2延長戦は、「第1延長戦終了後 → 5分休憩(即トス) → 前半5分 → 休憩1分 → 後半5分」とする。

なお、2位代表の交流戦は、延長戦を行わない。

(3) 競技時間は、加算式の電光表示板を使用し、コート対角または対面で表示する。

(4) 競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザー・ホーン、または笛で行う。

(5) ①退場者の番号と入場時間は、「電光表示板」で表示することを基本とするが、会場によっては、「記録席上用紙で表示」する。

②入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけられても回答しない。

7 大会使用球 (公財)日本ハンドボール協会検定球を使用する。

- 男子:モルテン(全日)
- 女子:ミカサ(全日)

8 トス・ユニホーム

- (1) トスは、ユニホーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。
その際、チーム役員の服装(色)及び臨時トレーナーの有無についても確認する。※11(5), 16(1)
- (2) ユニホームの確認について、第1試合は、記録席前で「試合開始30分前」に行く。
以降の試合は、前試合のハーフタイムで行う。
確認の際には、試合に着用する全ての種類のユニホームを持参する。
希望調整が見つからない場合は、組合せ表によるチーム番号の大きいチームが変更する。
- (3) ユニホームについては、下記のとおりとする。条件に満たない場合は当て布などで覆わなければならない。
その色はユニホームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。
 - ① 番号の大きさ(高さ)は、胸10cm以上・背20cm以上とする。
 - ② 基調色として、半分以上が同色でなければならない。
 - ③ メーカーのロゴは、20cm²以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。
 - ④ 背中に氏名などの文字表記をする場合は、大きさ(高さ)10cm以内とする。
 - ⑤ 試合中にユニホームが破損したり、血液が付着したりして、競技を続行できない時は、別のユニホームに着替えなければならない。その場合は、同じ番号でなく、申込と異なる番号でも問題ない。また、交代地域にいる別のプレイヤーのユニホームと交換することも許される。
 - ⑥ チームは、ユニホームとして「シャツ・パンツ・ソックス」の色をそれぞれ統一すること。
ソックスは、色が揃っていればよく、メーカーのロゴなどは問わない。
- (4) ゴールキーパー
 - ① チームで同色とする。
 - ② コートプレイヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。
併せて、登録されたゴールキーパーと同色のユニホームを着用することは許される。
 - ③ 一時的なゴールキーパーは、コートプレイヤーとして登録した番号のゴールキーパーシャツを着用する。また、チームのゴールキーパーシャツと同色の別ウェアを重ね着し、背番号と胸番号が見えるようにする。
- (5) 身につけられるものについて
 - ① 短パンツの下に着用するサイクリングパンツやウォームパンツ(アンダーウェア)は、短パンツの基調色か、同色とし、チームで統一していれば着用できる。
 - ② ユニホームの外にアンダーウェアが出る場合があっても、立っている状態で見えなければ正さなくてよい。
 - ③ 長袖アンダーシャツ・アーム(ロング)スリーブなどは、ユニホームに使用されている色であれば着用できる。
 - ④ ふくらはぎのコンプレッション(加圧)サポーターは、靴下と同色であれば着用できる。
 - ⑤ 複数の部位を覆うサポーターなどやメーカーのロゴが20cm²以上ものは、着用を認められない。
 - ⑦ 金具入りなど、敵味方を問わず他の選手に危害を与えるものについては、その着用を認められない。
 - ⑧ 眼鏡及びスポーツゴーグル等を使用する際には、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレームなどについては使用できない。
 - ⑨ 詳細は、JHAホームページ「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。
 - ⑩ 眼鏡およびスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレームについては、使用できない。

9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 事前に所定の手続きを完了した登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することができる。
- (2) 交代地域には、チーム責任者1名を含むチーム役員4名以内、選手16名以内の合計20名以内が入ることができる。
- (3) チーム役員・選手の変更については、2月1日(木)17時までに変更申請が完了したことで決定する。申請方法は、「実施要項 17参加上の注意(2)」のとおりとする。
なお、変更申請の内容一覧については、2月2日(金)の代表者会議で一覧表を配付し周知する。

(4) ①トスの際には、テクニカルオフィシャル(以下:TO)に登録証を提出する。忘れや不備(写真添付なしなど)があった場合は、試合に出場できない。

チーム役員は、公認資格証も持参する。(※努力事項とする。)

②TOまたは審判員が、試合前に交代地域にてチーム役員・選手及び登録証を確認する。

試合中は、TOが登録証を管理し、試合終了後にTOから両チーム代表者に返却される。

③失格したチーム役員・選手、または、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、その場で返却しない。

(5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・C・Dカード」を着用し、試合終了後に返却する。
チーム責任者は、「Aカード」を着用する。

10 公式記録用紙

(1) **記録は、(公財)日本ハンドボール協会「公式記録用紙」(ランニングスコアなし)を使用する。**

(2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・選手氏名・背番号」など、責任を持って確認し、サインをする。

(3) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11 交代地域 ☆交代地域:「3.5mラインを始点とし、センターラインから12mの範囲まで」

(1) 各チームのボール等の用具類は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。

競技開始後は、ボールに触れることを含めてボールの使用を禁止する。

(2) 飲料水は、飲み口の細い「個人の容器」を使用し、コップの使用を禁止する。

感染防止対策として、大型ペットボトルの回し飲みも禁止する。

(3) 交代地域では、通信機器の使用を認める。

詳細は、JHAホームページ「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。

(4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることは認める。

ただし、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位のままで観戦することは不可とする。

(5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。

トスの際、ユニホームの色が確定した後に、役員の色を確認する。

(6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。

ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。

(7) 観客席等から選手への指示や審判のジャッジに対する暴言等は厳禁とする。

(8) **チーム役員が、試合時にマスクを着用することは、任意とする。**

12 チームタイムアウト

(1) チームタイムアウトの請求は、全試合1試合で3回請求することができ、前半後半にそれぞれ最高で2回まで請求することができる。また、後半の残り5分間は1回しか請求できず、延長戦は請求できない。

(2) チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出することができる。

請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア(3.5m)を越えたらグリーンカードを提出しなければならない。躊躇することは許されない。ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。

(3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。

(4) グリーンカードは、テクニカルデレゲート(以下:TD)が直接受け取ってよい。

13 休憩時間(ハーフタイム)

(1) **休憩時間のコートは、次試合を行うチームが練習として使用して良い。**

(2) 練習で使用する時間は「9分」とし、残りの時間は、後半に向けたコート整備の時間とする。

タイマーは、「10分の減算表示」とし、9分時のブザー合図で速やかにコートアウトする。

14 テクニカルオフィシャル(マッチオフィシャル:MO、テクニカルデレゲート:TD)、裁定委員会

- (1) 本大会は、各試合にMO兼タイムキーパーを担当するTD1名とスコアキーパーを担当するTD1名の2名を配置する。MO・TDは、各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するため、審判員・全競技役員・補助員と協力して試合を管理する。
- (2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長・競技副委員長(競技委員)・審判長・副審判長とする。なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が発生した場合は、当日中に裁定して関係者に通知する。

15 次の試合のチーム役員・選手のフロアへの入場

次試合のチーム役員・選手は、前試合が終了し、両チームの役員・選手がコートアウトし、フロアに入場する。

前試合が行われているのに、アップや試合に備えて、コートサイドに入って準備をしたり、観戦したりすることがないように留意する。なお、佐世保西高校は、コート外に待機場所がないことから、フロア上階のギャラリーを待機場所とする。

16 臨時トレーナー

- (1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。
トスの際には、必ずMO・TDに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。
- (2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。
選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。
- (3) MO・TDが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

17 表彰

競技2日目に「佐世保市体育文化館」(男子)、「佐世保市東部スポーツ広場体育館」(女子)の各会場では、準決勝の試合終了直後に3位表彰(賞状授与)を行う。

また、競技最終日に「佐世保市体育文化館」にて、決勝戦の全試合終了後に表彰を行う。

18 感染症対策・危機管理

- (1) 大会期間中は、手洗い・手指消毒・うがい等を積極的に行い、健康に十分配慮する。マスク着用は、任意とする。
施設内だけでなく、移動中やホテルでも消毒や検温ができる準備を各チーム・各自で行う。
- (2) 自己管理・感染症予防のためにホテル滞在中は、各室でも個人的に感染予防に積極的に取り組む。
- (3) 大会前から練習中はもとより、生活全般で体調管理に留意する。
- (4) チーム役員は、感染症対策の責任者として、移動行程や会場での感染症対策の他、チーム関係者から発熱者や体調不良者が出た場合は、責任者の管理下でホテル待機、医療機関の受診などの業務に対応する。
- (5) 各チーム・各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

19 試合の開始と終了

開始時は、選手全員が交代地域から横1列で入場して、あいさつをする。

試合終了時は、コート中央に横1列で並んであいさつをし、その後、相手チームと交差しながら挨拶を交わし、相手側交代地域で役員へのあいさつを行う。

20 入館・観客席

- (1) 今大会は、スポーツ競技活動を通じた社会活動の一場面でもある。各チームの役員は、「競技上の注意」「会場使用上の注意」などを徹底させる。
- (2) 今大会は、有観客、応援可能として開催する。

- (3) 観客席で、「ラッパ」・「ホーン」・「ロ（指）笛」などの口腔での鳴り物を使用した応援を禁止する。
- (4) チームの入館および退館の時刻や館内の滞留時間は、指定しない。
ただし、第1試合の入館時刻は、開催地から発出される「会場使用上の注意」を参照する。
- (5) 競技会場内では、チームが使用した観客席や更衣室などの清掃・美化作業を行う。

21 申込チームの欠場（辞退）の場合

- (1) 欠場（辞退）による代替出場は行わない。
- (2) 試合記録は、欠場（辞退）のチームの不戦敗とし、スコアは0-16とする。
- (3) 競技日程・試合開始時刻などは、原則として変更しない。

22 大会期間中に体調不良者が出た場合

- (1) 発熱・咳・咽頭痛などの症状を訴える役員・選手を確認した場合は、速やかに帰宅させるかホテルに待機させ、医療機関・発熱外来などに相談する。
- (2) 上記(1)の場合は、その後、チーム内の役員・選手の健康チェックをこまめに行う。

23 新競技規則変更の適用について

スローオフエリアに関する新たな解釈の内容を適用する。